**学習指導案　地理②（２０分版） 北方領土の地域特性を通じた再発見**

|  |  |
| --- | --- |
| 授業日時 | 令和○年　○月　○日（○曜日）　第○時 |
| 対象学年/クラス/生徒の人数 | 第○学年○組（計○名） |
| 指導者名 | ○○○○ |

|  |  |
| --- | --- |
| 本時のねらい | 北方領土の地理的な特徴や自然環境、暮らしなどについて調べまとめることを通して、北方領土問題の解決に向けた取組みなどへの関心を高めさせながら北海道東部との比較などを通じ北方領土について再発見させる。 |
| 指導観 | 北方領土に興味・関心をもって取り組めるよう、画像やデジタルデータを提示する。ペアワークを通して、地理的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学習となるように留意する。また、生徒同士の協働的な学びを設けることにより、自己の考えや知識を深められるようにする。  導入段階では、北方領土の北海道からの距離、面積を調べ、自身の生活圏と対比させることで、北方領土の空間的な広がりのイメージをもたせる。  展開では、北方領土の自然環境や暮らしについて調べ、北方領土の地域的な特色について再発見させる。  まとめでは、学習を振り返り、北方領土の地域的な特色を整理するとともに、北方領土問題の解決に向けた取組みなどへの関心を高めさせる。 |
| 生徒観 | 本時の内容に対して、以下の観点について、生徒の実態を具体的に記述する。  ・学習に必要な習熟度  本時の学習を行うに当たり必要となる知識に対する習熟度（小学校社会科の学習等を通じて身に付けた知識）  ・学習経験  本時に関連してこれまで取り扱った内容（北方領土問題についての学習経験等）及び取り扱った際の興味・関心の度合い  ・その他、本時の展開に当たり必要な事項  ICTの利用経験  グループワーク等の経験、または意欲や姿勢 |
| 教材観 | 教材は、学校教育現場における北方領土についての学習などの充実を目的として、ICTを活用し、画像やデジタルデータを用いて、生徒が興味・関心、実感をもって、北方領土について再発見し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動となるよう作成している。  本時は、中学校学習指導要領「地理的分野」の「2内容」の「A 世界と日本の地域構成」の「（1）地域構成」に基づいて設定・開発したものである。  北方領土は、北海道（本島）から近いことや大きいこと、また、自然豊かで漁業資源の宝庫であり、かつて日本人が住んでいた日本固有の領土である。  北海道東部と気候、動植物の分布が似ている。  本教材は、北方領土の様々な特徴を知り、北方領土の地域特性を理解し再発見することで、北方領土についての関心を高めるために適した教材である。 |

本時の指導・授業の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点  （■学習改善につなげる評価） | 使用教材  ICT活用  使用アプリ・ツール例 |
| 1. 導入   <3分> | * 本時の学習課題（北方領土はどんなところなのだろう）をつかむ | * 授業実施用教材　地理②（以下スライド）またはGoogle Earthを右記に記載のアプリ等で画面に映しながら、「皆さんの生活する〇〇（都・道・府）県と北方領土の面積を比較してみましょう」などと問いかけ、答えさせながら全体で確認していく。 * 北方領土の距離、面積を理解させながら本時の課題についての発想をもたせる。（例：北海道と北方領土の最短距離を調べ、学校から同じ距離にある場所はどこか、地理院地図を使って調べてみよう） | 授業実施用教材 地理②（以下スライド）P1～P6    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. 展開   <12分> | **『北方領土はどんなところなのだろう**』   * 自然環境に注目してみよう | * 北方四島の自然環境を気候や動植物にも焦点を当て、写真を用いて視覚的に理解させる。 * 北方領土は自然豊かであり、漁業資源の宝庫であること、また、豊かな漁場が形成されているのは、近海に流れる暖流と寒流が影響していることを理解させる。   ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 | スライドP7～P10    ワークシートW1 |
| * 暮らしに注目をしてみよう | * 現在の北方領土の暮らしがどうなっているかを理解させる。北方領土は日本固有の領土であるにもかかわらず、ロシア人が開発・整備を進めている現状に注目させる。   ＜1945（昭和20）年＞   * 北方領土にはかつてどれくらいの日本人が生活していたのだろう   →各島にはどのくらいの日本人が生活していたのだろう   * かつて北方領土ではどのような生活が行われていたのだろう * 北方領土には日本人が17,291人住んでいた。   ＜現在＞   * 現在、北方領土ではどのような生活が営まれているのだろう   →日本人は1人も住んでいない。  →ロシア人が住んでいる。  →ロシア人は北方領土の開発・整備を進めている。 | スライドP11～P13    ワークシートW2    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 『**北海道東部と北方領土の共通点、相違点**』   * 北海道東部と北方領土は、どんな共通点、相違点があるのだろう   **ペアワーク** | * 「北海道東部と北方領土の共通点、相違点は何だろう」と問いかけ、隣の席同士ペアで予想した内容をまとめ、全体で確認していく。 * 気候、動植物の分布については共通点がみられる。 * 北方領土には日本人が1人も住んでいない、自由に訪問（旅行）、開発・整備することができないなどの相違点に気づかせる。 | スライド　P14～P15  ワークシートW3  ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. まとめ   <5分> | * 本時の学習を振り返る | * 全体で本時の学習を振り返る。 * 北方領土の地域特性や北海道東部と北方領土の共通点、相違点について、全体で自由に意見を言わせ、共有する。 * 知識・技能：学習課題に対し、北方領土の地域的な特色や歴史的背景について整理するとともに、北方領土や北方領土問題の解決に向けた取組みに対する関心を高めている。 | スライドP16～P17    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |